

多様な学び 実践研究フォーラム

3月16日土

フォーラム初日は、基調講演とシンポジウムが開催されます。

基調講演 定員:200名 ふくふくホール 13:40~15:10

多様な学びをひらく ～AI時代に学びをどう考えるか～



講師: 汐見 稔幸 氏

東京大学名誉教授
白梅学園大学・同短期大学前学長

教育学、教育人間学、育児学を専門とし、各地で講演活動をおこなっている。教育者や子育て中の保護者に至るまで、幅広い支持を集めている。主な著書として『人生を豊かにする学び方』『「天才」は学校で育たない』などがある。

シンポジウム 定員:200名 ふくふくホール 15:20~16:50

「普通教育機会確保法」見直しまで1年 ～今、必要な視点～

パネリスト

奥地 圭子 氏 フリースクール全国ネットワーク 代表理事
東京シュレ 理事長

喜多 明人 氏 早稲田大学 教授
子どもの権利条約ネットワーク

吉田 敦彦 氏 大阪府立大学 教授
京田辺シュタイナー学校

齋藤 真人 氏 立花高等学校 校長
当フォーラム大会委員長

コーディネーター

中村 国生 氏 多様な学び保障法を実現する会 事務局長
東京シュレ

フォーラム交流会 18:00～

初日フォーラム終了後、基調講演者、パネリストの方々および多様な学び実践者との交流会を実施します。ゆっくりとした雰囲気でお話をされたい方はご参加ください。

※別途参加費500円

3月17日

フォーラム2日目は、午前に5つ、午後に5つ、計10の分科会と、分科会終了後の全体会が開催されます。

AM

分科会 ① 定員:50名 501研修室 10:00~12:00
ニュージーランドとオランダの教育と
オルタナティブスクール

多様な学びを正式に認め、支援している国であるニュージーランドやオランダの教育を紹介し、その中で、オルタナティブスクールとしての、シュタイナー教育やイエナプラン教育を例にしながら、日本の公教育や『選択できる学び』について考えていきたいと思います。

分科会 ② 定員:50名 502研修室 10:00~12:00
フリースクールの実践
～子ども中心の学び・ミーティング・活動づくり～

フリースクールのスタッフに、現場での学びや子どもとの関わり方、ミーティングなど日常の活動について報告してもらいます。フロアディスカッションの時間を設け、子ども中心の活動、学びをつくるためのスタッフの役割・在り方について意見交換をし、実践に関する理解を深めていきます。

分科会 ③ 定員:50名 503研修室 10:00~12:00
出席扱いって何？
～学校連携・公民連携・地域連携を考える～

出席扱いの意味や意義とは何かを考えつつ、民間の学びの場と学校・行政・地域との連携の在り方の実例を知る場にします。立場に固執するのではなく、社会の大人の一人として「共に」「何が」できるのか？を考え、共有していきたいと思います。

分科会 ④ 定員:50名 5F視聴覚室 10:00~12:00
どのようにして多様な学び場を
法的に位置付けるのか？

「教育機会確保法」が成立して2年が過ぎた今、法的にどういう形で支援の具体策を作っていくかを考える機会とします。大阪では分科会タイトルの内容で研究会を立ち上げ、議論を続けてきました。その内容を整理し、発表することで、明るい未来を考えていきます。

分科会 ⑤ 定員:45名 602研修室 10:00~12:00
学校・教育の役割を考える ～これからのクリエイティブな時代に求められるもの～

話題提供:アレキサンダー・ストリーター (FIDS)
教育の歴史／学校制度の始まり／やる気の科学／情報化時代ではテストが機能しない理由／情報化時代に人々を成功へと導くものとは？時代の変化とともに、学校の役割はどう変わってきているのか？話者のユーモアあふれる教育論をお見逃しなく！

PM

分科会 ⑥ 定員:50名 501研修室 12:45~14:45
国境を越えて共に学ぶ・つながる
～東アジアにおける多様な学び～

ゲスト:朝倉景樹(日本)、王美玲(台湾)、おはいお(韓国)
東アジア各国の多様な学びの現状や実践例をシェアします。それらを通して、日本の現状を理解し、国を超えたつながりやこれからの学びのあり方について、一緒に考えます。各国の教育事情に詳しいゲストを交えてのトークをお楽しみください。

分科会 ⑦ 定員:50名 502研修室 12:45~14:45
大学生だからできるサポートとは？
～専門性と素人性～

子どもたちと近い存在でもある大学生。いわゆる「斜めの関係」の有効性が広く知られてきています。ただ年齢が近ければそれでいいという訳でもありません。若者の長所を活かし、専門性と素人性について考え、今後の学びの保障にどう活かしていけるかについて考えていきたいと思います。

分科会 ⑧ 定員:50名 503研修室 12:45~14:45
スクールソーシャルワーカーって何？
～家庭・学校・地域をつなげるキーマンの役割とは～

講師:奥村賢一氏
近年注目されて久しいSSWの存在。福岡市はSSWの配置を積極的に進めており、全国的にも注目をされています。福岡県立大学の奥村賢一先生にその背景にある課題や具体的な活動内容を語って頂き、その本質を皆で共有していきます。

分科会 ⑨ 定員:50名 5F視聴覚室 12:45~14:45
多様な学びの評価
～自己評価・相互評価で質を高める～

文科省は教育機会確保法に基づく施策として、フリースクール等の学校以外の多様な学びの場における教育機会の確保を促進するための調査研究事業を行っています。多様な学びの場が量的にも質的にも充実発展していく基盤づくりのための「自己評価・相互評価の仕組み作り」「中間支援組織を中心としたネットワーク仕組み作り」について考えていきます。

分科会 ⑩ 定員:45名 602研修室 12:45~14:45
公立学校における多様な学び
～一人の子も見捨てない『学び合い』の取り組み～

講師:元主浩一氏
福岡市内の元学校長である 元主浩一先生をお招きしてみんながわかる「学び合い」みんなが「幸せ」になれる学びについて考えます。一斉授業から主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善)に取り組んでいる学校現場の存在を知ってもらいたいと考えています。

全体会 定員:200名 ふくふくホール 15:00~16:30

九州の多様な学びの未来を みんなで考える

この時間は、九州内の多様な学びの存在を認識し合うため、多様な教育ニーズに応えるため、立場を越えてお互いを認め合う関係づくりのため、多様なパネリストを交えて皆さんと共に考えていきます。

3月16日土・17日日
13:30~17:00 10:00~17:00

フォーラム開催中、常時開設しています。
入退室自由なので、気軽にご利用ください。

子ども参加の
フリースペース 401会議室

当日、子どもが自由に楽しく過ごせる様に、ゲームや漫画の設置、見守りスタッフによる小イベント等を行なっています。

多様な学び
交流ブース 3階 交流ひろば

フリースクールやオルタナティブスクール、自然学校等の多様な学び実践団体による交流ブースです。多様な学びの情報収集や情報交換を自由に行なっていただけます。

【参加費について】 18歳以下:無料

両日参加

3月16日土・17日日 3,000円

1日のみ参加

16日土 または 17日日 2,000円

学 生

両日または1日のみ参加 1,000円

実行委員団体

福岡インターナショナル・デモクラティック・スクール(FIDS) / 箱崎自由学舎えすぺらんさ
 ふくおかフリースクールフレンドシップ協議会 / 福岡シュタイナー学園
 フリースクール未来学舎 / まちづくりLab / ふくおか子ども支援学生連盟
 AIE九州連携機構 / うきは市社会福祉協議会 / 産の森学舎
 マイマイ計画 / QDEC / フリースクール クレイン・ハーバー / みんなの学び館
 もうひとつの学校創楽SORA / 学び方研究所アイラボ / 土居自然学校
 eaoチャイルズコミュニケーションスクール/ hare＊hale～子どもの居場所づくりサークル

会場へのアクセス



福岡市市民福祉プラザ ふくふくプラザ

住所：福岡市中央区荒戸3丁目3-39

公共交通機関のご案内

福岡市営地下鉄(空港線)
 「唐人町」駅下車、4番出口から徒歩約7分
 西鉄バス
 ※ 天神、博多駅方面からご乗車の場合は
 路線経路が複数ありますのでご注意ください。
 黒門バス停下車、徒歩約5分
 福大若葉高校前バス停下車、すぐ

申し込み方法

以下の申し込み用紙にご記入いただきFAX/E-mailで送信いただくか、
 申し込みフォームよりお申し込みください。

ふりがな	◎参加者氏名
◎ご連絡先(メールまたはTEL)	
◎ご所属	(都道府県) ◎居住地
◎参加日数	※参加費のお支払いは、フォーラム会場での受付時となります。
【両日参加希望】	☐ 一般(3,000円) / ☐ 学生(1,000円) / ☐ 18歳以下(無料)
【16日のみ参加希望】	☐ 一般(3,000円) / ☐ 学生(1,000円) / ☐ 18歳以下(無料)
【17日のみ参加希望】	☐ 一般(3,000円) / ☐ 学生(1,000円) / ☐ 18歳以下(無料)

◎参加希望イベント

【1日目(16日)】
☐ フォーラム交 流 会(別途500円)

【2日目(17日)】
 午前 ☐ 分科会① ☐ 分科会② ☐ 分科会③ ☐ 分科会④ ☐ 分科会⑤
 午後 ☐ 分科会⑥ ☐ 分科会⑦ ☐ 分科会⑧ ☐ 分科会⑨ ☐ 分科会⑩

※分科会①～⑤から
 1つのみ選択可

※分科会⑥～⑩から
 1つのみ選択可

【お申し込み】 FAX 092-643-8625

【申し込みフォーム】 <https://www.kokuchpro.com/event/tayoumanabi/>

【E-Mail】 tayoumanabikyusyu@gmail.com

お問い合わせ先

TEL 092-643-8615 (箱崎自由学舎えすぺらんさ) / TEL 095-844-8899 (クレイン・ハーバー)

多様な学び

実践研究フォーラム in

第6回

九州

2019

3月16日土・17日日

Facebookもチェック 最新情報をご確認ください。

<https://www.facebook.com/tayou.manabi.fukuoka/>

会場

福岡市市民福祉プラザ
 ふくふくプラザ

住所：福岡市中央区荒戸3丁目3-39

参加費

両日参加：3,000円
 1日のみ参加：2,000円
 学 生：1,000円
 (2日間通して)

18歳以下
 無料

◆多様な学び実践研究フォーラムとは？

フリースクールやフリースペース、シュタイナー教育やイエナプラン教育、デモクラティックスクール、外国人学校、インターナショナルスクール、ホームエデュケーション、そして自然学校など、多様な学び・学校外の学びの実践者や研究者が集い、実践の高め合い、実践を支える制度作りについて考えるフォーラムです。

多様な学びを支える現場スタッフ、子ども自身、保護者、学生、研究者、支援者、教職員、さまざまな分野の方々、どなたでもご参加頂けます。

13:00	受付開始	3月16日(土)
13:30	開式挨拶 大会委員長挨拶 齋藤 真人氏(立花高等学校 校長)	
13:40	基調講演 「多様な学びをひらく ～AI時代に学びをどう考えるか～」 講師： 汐見 稔幸 先生 東京大学名誉教授 白梅学園大学・同短期大学前学長	多様な学び交流ブース 子どもフリースペース
15:10	休憩	
15:20	シンポジウム 「普通教育機会確保法」見直しまで1年 ～今、必要な視点～	
16:50	翌日のフォーラムのご案内	
17:00	初日フォーラム終了	

09:30	受付開始	3月17日(日)
10:00	分科会 午前の部	多様な学び交流ブース 子どもフリースペース
12:00	休憩	
12:45	分科会 午後の部	
14:45	休憩・移動	
15:00	全体会 九州の多様な学びの未来を みんなで考える	
16:30	閉会	

【主催】 多様な学び実践研究フォーラム in 九州 実行委員会 / NPO法人フリースクール全国ネットワーク
 多様な学び保障法を実現する会

【後援】 福岡県教育委員会(申請中)・福岡市教育委員会・久留米市教育委員会(申請中)

【協力】 障がい者より良い暮らしネット / ふくおかインクルーシブ教育研究会 / 福岡おやじたい